

大学院生対象「生体機能物質工学特講」  
学部 2 年生以上対象「生命科学特論」

## 『海産無脊椎動物の発生と進化：ウニ・ギボシムシ・ナメクジウオ』

講師： 田川 訓史 先生  
(広島大学大学院理学研究科附属臨海実験所)

日時： 9月26日(水)～9月28日(金) 初日は 1:10 pm 集合。

教室： 理学部 2 号館西端 共通第一講義室

我々ヒトを含む脊椎動物の祖先は太古の海で生まれたと考えられている。脊索動物の中でも頭索動物ナメクジウオは、現生動物の中で解剖学的に最も脊椎動物に似ており、注目されてきた動物である。また棘皮動物ウニは、我々の日常生活とも非常に密着しており、古くから発生学の材料として研究され、海産無脊椎動物の中でいち早く分子生物学的手法も取り入れられ研究が進んでいる動物である。半索動物であるギボシムシは、あまりなじみない動物であるが、脊索動物以外の動物で唯一鰓裂をそなえた動物であり、脊索動物の起源と進化を考える上で重要な動物である。これら三つの動物門は、地球上で生息する数ある動物の中でもその発生学的特徴から、新口(後口)動物とよばれる大きなグループに分類される。これら同じグループに属する海の動物の発生について学び、分子発生生物学的研究および最近のゲノム科学的研究などを含めて進化に関する知見を考察する。

棘皮動物      半索動物      脊索動物



新口動物

最終日の最後の1時間はセミナーとします。もう一枚のポスターをご覧ください。  
授業履修と関係なく、教員、学生、その他どなたでも、興味のある方はセミナーに参加できます。

集中講義・セミナーに関するお問い合わせは藤原( [tatataa@kochi-u.ac.jp](mailto:tataaa@kochi-u.ac.jp) )まで

## 『半索動物ギボシムシ研究の現状』

講師： 田川 訓史 先生  
(広島大学大学院理学研究科附属臨海実験所)

興味のある人，学部学生でも大学院生でも教員でも，学部学科に関わらず全員が対象です。

日時： 9月28日(金)

教室： 理学部 2号館西端 共通第一講義室

ギボシムシは一般にあまり知られていないし，ウニなどと違って研究材料として扱うことが難しい動物である。しかしながらこの動物は，新口動物の起源と進化を考える上で重要な動物である。この動物を研究する重要性，面白さなどについて触れ，現在どのような研究が行われているのかについてお話したい。



セミナーに関するお問い合わせは藤原( [tatataa@kochi-u.ac.jp](mailto:tatataa@kochi-u.ac.jp) )まで